





旧岩淵水門(赤水門)

テルメ末広から程近くにある「旧岩淵水門（赤水門）」。
荒川の洪水を防ぐため、大正時代に治水の要の施設として建設された。

歴史的建造物としても高く評価されており、2009年には荒川放水路とともに近代化産業遺産に認定。完成から100年を迎えた2024年には国の重要文化財にも指定されている。現在は「岩淵水門（青水門）」にその役割を引き継いだが、それまで約60年ものあいだ洪水から人々の暮らしを守ってきた。今も「赤水門」という愛称で地元の人々から親しまれている。

住所：東京都北区志茂5丁目42-6付近